

兵高教組

# 青年部通信

2013年10月31日

3号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : [honbu@hyogo-kokyoso.com](mailto:honbu@hyogo-kokyoso.com)

## 採用試験合格おめでとう！ 合格されたうれしい声が届きました

### 3度目の正直

「3度目の正直」という言葉がある。ただ、私はこの言葉をあまり信じたことがない。なぜなら、私は不器用で要領も悪く、何事もたった3度の挑戦で成功・実現することはないからだ。しかし今年の夏、私はおそらく人生で初めて、「3度目の正直」を味わった。

1度目は1次不合格、2度目も1次不合格。地理歴史科は高倍率といわれるが、それにしても筆記試験さえ通過できない自分が歯痒く悔しかった。しかし、不合格の原因が自分の甘さであることは明白だった。そんな私が3度目の受験で、1次のみならず2次まで突破できたのはなぜか。これまでの試験対策と違う部分はどこかと考えた時、すぐに組合主催の学習会のことが思い浮かんだ。

今年度より教職教養が一般教養試験で問われることになり、どのように勉強すればよいか思案していた折、知り合いの先生が組合の学習会の存在を教えてくれた。採用試験合格のための学習会で、多彩なプログラムが用意されており、ちょうど私が悩んでいた教職教養に関するテーマで学習会が開かれるということで、また、学習会後に開催される飲み会に惹かれたこともあって（笑）、私はすぐに足を運んだ。学習会では、自分と同じく講師をしながら採用試験合格に向けて頑張る同志がたくさんおり、ネットワークを広げることもできたし、何より間々の存在が自分のモチベーションアップにつながった。また、学習会をきっかけに合格された先生のお話を聞く機会もあり、1人きりの勉強では得ることのできない情報が満載だった。組合員の先生方のサポートも厚く、何から何まで身になることばかりだった。

採用試験に合格するためには、やはり確かな知識・技能が必須である。これがなければ1次でふるい落とされるし、2次の模擬授業だってできない。しかしそれ以上に、人との関わりやつながりを大切にする気持ちの方が大事なのではないか。2次の集団面接・個人面接では、受験者や面接官と話をすることで教員への適性が判断されるわけだが、その時に醸し出される人間性、例えば柔らかい雰囲気や真摯な姿勢は、常日頃から人とのコミュニケーションを大切にしていなければ、緊張状態にある試験本番では発揮されない。

話は採用試験に限ったことではなく、教職を志す以上、人との和を大切にし、尊厳をもって接することは、何よりも重要視される点である。

私は組合の学習会で、多くの人に出会えたことが大きなパワーになった。頑張ろうと特別に気を張らなくても、自然に努力することができた。ここで出会った人たちと、ともに働きたいと思った。その気持ちで、「3度目の正直」を生んだのだと思う。

人とのつながりの大切さを再確認させてくれた組合の学習会に、今度はスタッフとして微力ながらサポートができればと思う。そして、そこでまた出会うであろう人とのつながりを、これからも楽しみにしていきたい。

採用試験合格者の講師組合員より

## 青年部学習会で雨松委員長が講師を 新たに組合加入1名！



### 雨松先生の講義「高校は青年期の課題にどう こたえるか」を聞いて

前半は高校生活指導研究会の実践との出会いやマカレンコ全集との出会いなどの体験談を話されて、かつての活動の活発さや年齢の段階によって考えることが出てくることを感じました。

後半は勤務校で立ち上げた新教科「公共」について話されました。公共は総合の科目よりもさらにキャリア教育に力を入れており、社会生活を営むための情報の活用法を学ぶことや、働く方々を招いた講演会や、工場見学等の体験学習を通じて働く意義を学ぶ教科です。その後に、勤務校での生徒間ディベート中に起こったことについて、2年6組「白熱」クラス討議との題で話されました。委員長が、教科「公共」の必要性がわからない、という議題をあげクラスの中で発言が真剣にぶつかり合ったという内容でした。このような本気のやりとりができる環境はとても素晴らしく、どうすれば自分の勤務校で生徒が本気で語れる場が作れるのかを考える良い機会となりました。以上のような素晴らしい講義をして頂き、本当にありがとうございました。

青年部副部長 松永 絃明